

犯された私 vol. 13

ブービートラップ



烏賊松

大学進学と同時に
このマンションへ
越して来て2年――

学校や街にも
すっかり慣れてきた
頃の事です

マンションの他の
住人さんたちは
いい人たちばかりで

顔を会わせれば
必ず挨拶を
交わしていました

特に私の下の部屋に
住んでいる男性は
とても紳士的な感じで
優しい人でした

ある日の午後

その人が
私の部屋を訪ねて
来たんですが……

え……

私の
下着が……？

ええ

ウチの
ベランダに
落ちてきまして
……

その
なんと言うか

私が直接触って
しまうのも
気が引けまして
ね……

ご面倒でしょうが
うちまで取りに来て
いただけませんか？

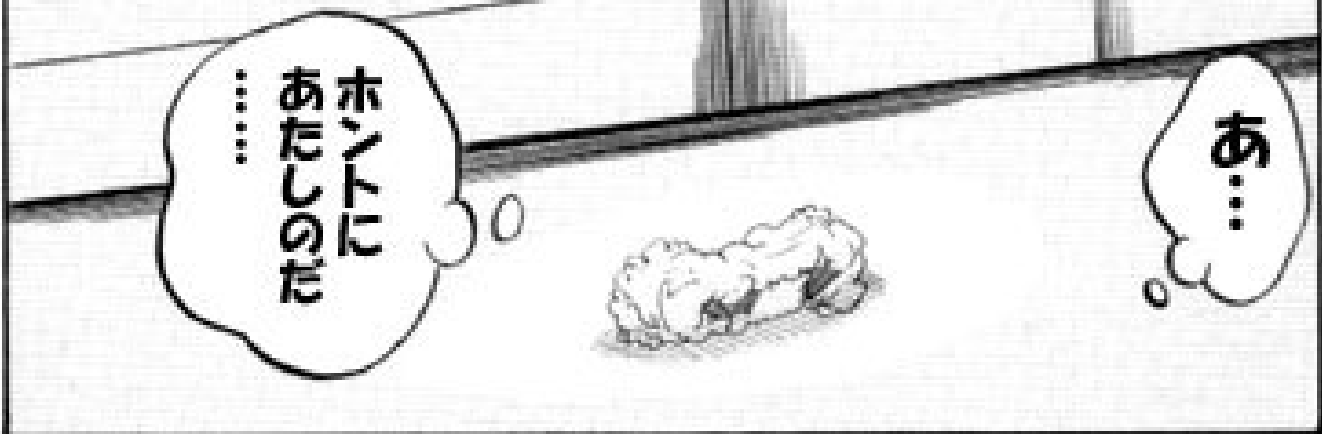
いえ
そんな……

私は
何の疑いもなく
その人の部屋へ
行きました

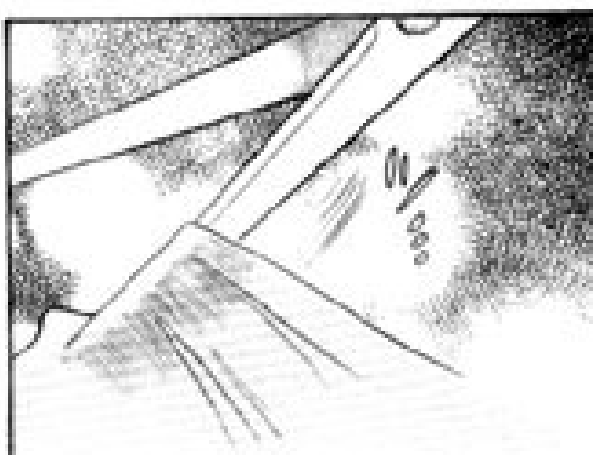
普段から
顔見知り
だった事もあり

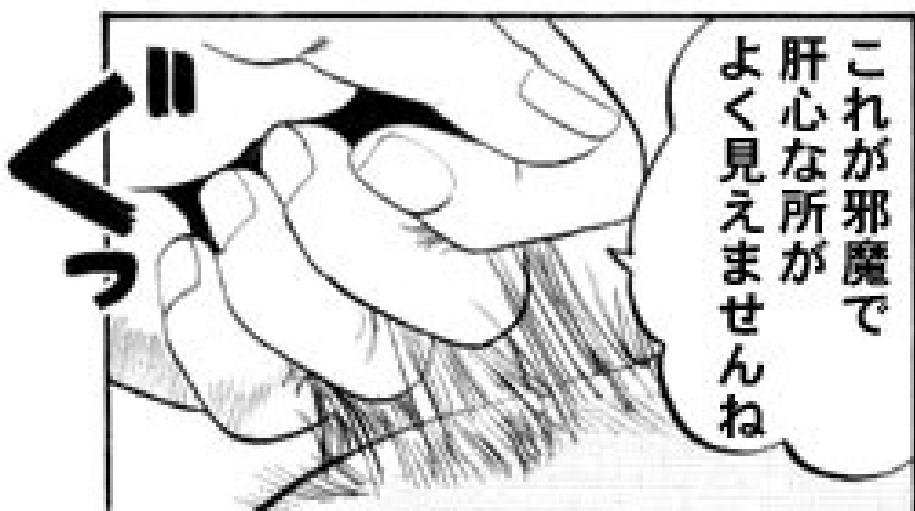
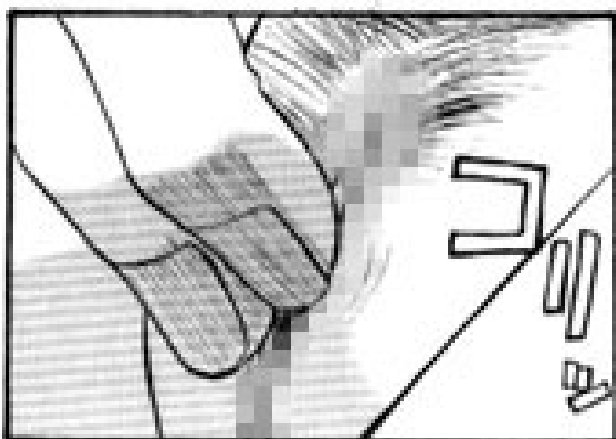
わざわざ
すみません
こちらこそ
お手間を取らせ
ちゃって……

どんなメに
あわされるかも
知らずに……















お漏らし
なんて

まるで
子供みたい
ですね

すごく興奮
します!!

でも
こういうのも
嫌いじゃない
ですよ



何が何だか
わからない内に
拘束され



身動きも抵抗も
できないまま
大量に中出し
されてしまいました



男はイッた後も
私を解放してくれず



自分が回復するまで
私のアソコやお尻に
オモチャを突っ込み

私の身体を弄び
続けました



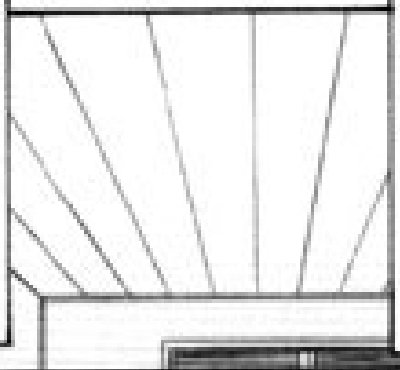
自分の意志とは逆に
どんどん感してしまう
私のカラダ……



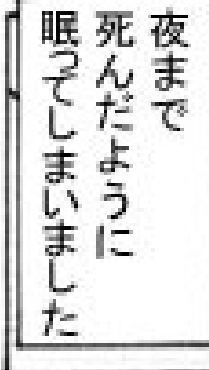
翌朝、私は
ドロドロに汚された
身体のまま玄関の外に
放り出されました



自分の部屋に
なんとか
帰り着くと



夜まで
死んだように
眠ってしまいました

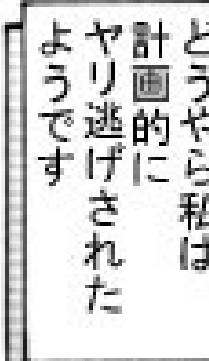


その時の事で
妊娠までして
しまつて……



そして次の日
あの男が引越した
事を知りました

どうやら私は
計画的に
やり逃げされた
ようです



今となつては
思い出すのも嫌な
最悪の体験です